

龍ヶ崎市_令和 7 年度「スポーツライミグのまち龍ヶ崎」推進支援業務

第 2 回教育・学習分科会分科会

時間： 2025 年 12 月 8 日（月） 15：30～17：00

場所： 龍ヶ崎市庁舎附属棟 2 階 第 1・2 会議室、オンライン

事務局：スポーツ推進課、合同会社デロイトトーマツ（ファシリテーター）

<分科会参加者>

- 福祉部次長
- 健康スポーツ部次長
- 教育委員会事務局次長
- 流通経済大学
- 龍ヶ崎市学校長会
- たつのこまちづくりパートナーズ（オンライン）
- 法人クラブ・ドラゴンズ（オンライン）
- 茨城県山岳連盟

議論事項

- 定期的な練習機会の在り方について
 - 事務局）龍ヶ崎市内でスポーツライミグの活動団体を組成する場合、活動の自由度等を鑑みて地域の民間団体による活動として認定する方向性が望ましいと考えておりますが、いかがでしょうか。
 - ◇ 参加者）地域移行の流れもある中、スポーツライミグの部活化は難しく、地域クラブとして推進していくべき。
 - ◇ 参加者）使用時間含め、施設自体は受け皿して問題なく使ってもらえるはず。これまでも取り上げてきた指導者の確保について、初心者レベルに向けた指導であれば問題ないが、通年での継続的な指導を実施したい場合、外部の指導員は必要になると考えている。
- 今後の進め方について
 - 参加者）取組の成功に向けては、指導者の確保に尽きる。別のケースだが、定着に向けて指導者が各所へ赴いたことが重要な役割を果たしていた。例えば資格取得者（スタートコーチ）を定量的に目標として掲げるなどすることで、今後のロードマップも具体的なものになるのではないか。資格の取得難易度について、例えば陸上の場合には未経験者であっても取得は可能であり、そこまで難易度が高いというわけではない。取組の中で、資格取得のサポートなどを含められるとよいのではないかと。
 - ◇ 参加者）教員がスタートコーチの資格を取得することは有効だと思う。
 - ◇ 参加者）大人の競技への理解を深めることが重要になる。

- ◇ 参加者）実際に取り入れる場合、教員の理解を得る必要がある。
- ◇ 事務局）スタートコーチの資格を有している、ないしは取得予定であるという条件を地域おこし協力隊の募集要項に含めることも考えられる。
- ◇ 参加者）スポーツ推進委員の中にスポーツライミング経験者が入ることも効果的だと思う。
- 事務局）簡易ウォールの設置について、保育所への設置は一案としてある。
- ◇ 参加者）先生側で使い方が分からないという問題があり、設置しても使われない懸念はある。怪我のリスク、遊び方について教える人がいればよいと思う。

以上